

K120.73

9

2

伊澤修二編

# 小學唱歌

貳

明治二十五年五月發行

大日本圖書株式會社

小學唱歌

第二卷 目次

各種音階對照圖

譜表 五線及短線 下字記号 縱線

音名 階名 音符及略符 拍子

數字及母韻練習

五聲音階

歌曲 神樂あそび

天長節

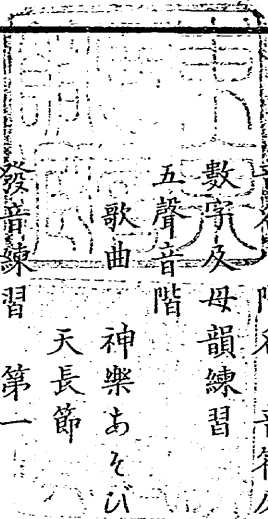
發音練習 第一

數字及子韻練習

律旋法五聲音階

歌曲 あふき見よ

皇御國



○卷之二目次

發音練習 第二

自然長音階 音階原圖 音階豫習

ハ調 音階練習

歌曲 紀元節 秋季皇靈祭

ト調 音階練習

歌曲 武夫 雀鴉 都の花 にんご

拍のわたり 春の野遊

ニ調 音階練習

歌曲 君國 玉

三調 音階練習

歌曲 まなべ 忍耐 友愛

拍子練習

變調 音階練習

歌曲 春景 孝子

イ調 音階練習

歌曲 大和の御民 母

律旋法

壹越調 旋法練習

歌曲 君が代 神武天皇祭 新嘗祭

黃鐘調 旋法練習

歌曲 恭儉博愛 修學習業 啓智成徳

平調 旋法練習

歌曲 元始祭

盤涉調 旋法練習

歌曲 孝明天皇祭 神嘗祭

俗樂調第一種 旋法例解 うきぎ

歌曲 小鼠 養老の瀧  
 俗樂調第二種 旋法例解 高い山  
 歌曲 水鳥 教育數一歌

應用歌曲

一月一日  
 學の園  
 勸學  
 卒業式歌

音階

俗樂調 (第一種)	律法	自然長音階	俗樂調 (第二種)
	甲 宮		
	羽	1	
	羽	2	
	徵	6	
	角	5	
	商 嬰 商	4 3	
	官	2	
		1	

(注意) 音階トハ自然ニ存在セル聲音中ヨリ、五ニ決テノ關係ヲ有スル諸音ヲ撰ビ之ヲ連續シテ階級ヲ設ケ、連トナシタル者ナリ。即チ律法ニテ宮徵ヲ生シ、商ヲ生シ、角羽ヲ生ズト云フガ如キ、又自然音階ニテ一弦ヲ彈クレバ初音甲音、五音、第二甲音等々、續發スト云フガ如キ、其諸音ハ皆自然ニ決テテ關係ヲ有スルニヨリ採リテ一連ト爲シ以テ音階ヲ組成セルナリ。斯ク音階ハ天然ノ法則ニ依リテ成レルモノナリ、故ニ其原理古今東西ニ決リテ異ナルコトナシ。唯其音階ノ在ル所ヲ異ニスルニヨリ、律法ノ差異ヲ來スノミ。

上圖ノ如ク、自然長音階ノ主音ハ、ニ在リ。律法ノ主音ハ、宮ニ在リ。又、自然長音階ノ主音ノ位置ニ當リ、俗樂調第一種ノ主音ハ、其第七音ノ位置ニ當リ、俗樂調第二種ノ主音ハ、其第三音ノ位置ニ當リ。以上各種ノ音階ハ、多ク水部ニ行ハル、樂曲ノ要部ヲ成セル者ナリ。但樂理上ノ說ハ、生徒ニ設クルヲ要セス。又諸音階中、點線ニテ記スル音級ハ甚ダ稀ニ用テラル、者ト知ルベシ。



第  
  
 アリヲミ ヨ ヤヨコド モ  
 トモノ タメニハ イノチヲ モ  
 ラシマデ ハタラク ケナゲナ サ  
 アリヲミ ヨ ヤヨコド モ

第  
  
 アリヲミ ヨ ヤヨコド モ  
 トモノ タメニハ イノチヲ モ  
 ラシマデ ハタラク ケナゲナ サ  
 アリヲミ ヨ ヤヨコド モ

○注意 此課ニ、ありノ曲ヲ再出シタルハ前課ト同一ノ學習ヲ為サシメ、且半音符ノ後ノ附点ハ四分音符ニ全ジキ事ヲ教フルニ在リ。又下段ニ數字ノミニテ掲ゲタルハ天長節ノ歌ナルガコレヲ數字ノミニテ練習スル時ハ生徒中既ニソノ何曲タルヲ想起スルモノアラシ。此時機ヲ利用シテ、其歌詞ヲ暗唱セシメ、益々習熟ニ至ラシメンコトヲ謀ルベシ。但シ此處ニテハ、其曲ヲ譜表ニ記セシムルヲ要セズ。

階音聲五

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
 ア エ イ オ ウ ヲ イ エ ア

第  
  
 1, 1, 1, 1, 1, 1, 2, 2, 2, 1, 0,  
 コド モ コド モ ウタ ヘノ ハヤセ

第  
  
 1, 2, 3, 3, 2, 1, 1, 1, 2, 3, 2, 1, 1,  
 ママ ヤノ カイ ハ ト ミカ グラ ノ コマ ヒ モラ

第  
  
 1, 1, 3, 3, 3, 2, 3, 3, 3, 2, 1, 1,  
 ケチハカ レカカカ ンカカカ ママママ リリリリ

第  
  
 エノ コロ コイ コイ ママ シ ハ セウ

○注意 此課ハ、五聲ヲ譜表ニ移シテ之ヲ練習セシム、猶簡短ナル歌詞ヲ加ヘテ其應用ヲ教ヘンガ為ニ設ケタリ。故ニ最初數字ニテ練習シ、其熟スルヲ待チテ、歌詞ヲ授クベシ。又第六曲ハ生徒ノ既ニ口授唱歌ニテ其樂調ニ熟セル者ナレバ、今其記譜法ヲ授ケ、且譜表ヨリ數字ニ移スルヲ學バシメ、ンガ為ニ此ニ再出セリ。歌ハ或ル人ノ作ニシテ、第一乃至第四ハ神樂遊ヲ詠ジ、第五ハ蹴鞠ヲ詠ジタルナリ。

### 習練韻子及字數

	師	生
7	リ	1, 4,   4, -   4, 4,   1, -   1, 4,   4, -   4, 4,   1, -
6	ツ	2, 4,   2, -   2, 4,   1, -   1, 4,   2, -   2, 4,   1, -
5	ト	2, 4,   6, -   6, 4,   2, -   2, 4,   6, -   6, 4,   2, -
4	ラ	2, 4,   6, -   6, 4,   2, -   2, 4,   6, -   6, 4,   2, -
3	チ	2, 6,   5, -   5, 6,   3, -   3, 7,   6, -   5, 3,   2, -
2	テ	2, 6,   5, -   5, 6,   3, -   3, 7,   6, -   5, 3,   2, -
1	タ	2, 6,   5, -   5, 6,   3, -   3, 7,   6, -   5, 3,   2, -

〔注意〕前課ノ練習ハ一時ニ習了セシムベキニ非ズ。時々臨機ニコレヲ行ヒ、又「ク」「シ」「ト」「ム」「フ」「カ」「ア」等ノ如ク斜行ニ音階ヲ上下セシムルモ可ナリ。

此課ハ「タ」「チ」「ラ」「ト」「ツ」「リ」ノ子韻ヲ音階ニ配シ、先ヅ數字ニ依リテ音程ヲ練習シ、次ニ子韻ニ依リテ發音ヲ練習セシムルモノナリ。師、生等ノ事由ハ前ニ述バタルガ如シ。今五十音中ニ「テ」「ト」「タ」行トヲ選ビテ、此目的ニ應用シタルハ古來我國ニテ音調ノ形容ハ該二行ニ依ルモノ多キト、其發音ノカ効クシテ、且分明ナルトノ利アルヲ以テナリ。

上ニ掲ゲタル旋律ハ短音階的ノ五聲ヲ成ルモノ多シ。又曲尾ハ「ニ」終ルモノヲ加ヘタルハ、律旋法ノ樂曲ノ豫習トセンガ為ナリ。

### 習練音發

#### 一第

ウルユムフ	6	ヌツスクウ
フロヨモホ	5	ノトソコオ
キリイミヒ	3	ニチシキイ
エレエメヘ	2	ネテセケエ
ワラヤマハ	1	ナタサカア

〔注意〕此課ハ既ニ授ケタル母韻練習ヲ横メテ、五十音ニ及ホシ前同様ノ順序ニ從テ、之ヲ五聲音階ニ配シ「カ」「キ」「ク」「ケ」「コ」「ク」「カ」等ノ如クニ各行ヲ上下シテ、發音ヲ練習スルノ用ニ供シタルナリ。或ル地方ニテハ、一様ニ或ル行ノ發音ニ難澁ヲ感ジ、又或ル生徒ハ、特ニ或ル發音ニ苦ムモノナドマ、アルコトナレバ、斯ル時ハ、其行ノ練習ニ、缺ク注意シテ、之ガ矯正ヲ務ムヘシ。概シテロヲ十分開カズシテ、發音ニ鼻聲ヲ帶ブルハ、一振ノ通弊ナレバ、發音練習ノ際、常ニ此ニ注意スベシ。但十分其目的ヲ達センニハ、視話法ノ原理ヲ應用シ、且伊澤氏定韻器ニ依リテ、各發聲音開合ノ度ヲ定ムルヲ可トス。

第十

1. スメラミクニノモノノフハは  
 2. すめらみくにのくにたみは

イカナルコトヲカツトムベキ  
 いかなることをかつかむべき

タダニモテルマゴコロヲ  
 みのなりははにいそしみて

キミトオヤトニツクスマバ  
 くにとやとにいとまをば

皇御國 作曲 伊澤修二  
 作歌 加藤司書  
 加部 嚴夫

一. すめらみくにのよけふは  
 いかなる事をうつむべき  
 た身ふもてるまをばを  
 君とおやとにいとまをば

二. 皇御國のくにたみは  
 いかなる事をうつむべき  
 みのかりとにいとまをば  
 くにと家とにいとまをば

階音聲五法旋律

2 3 5 6 7 7 6 5 3 2  
 テ チ ト ツ リ リ ツ ト チ テ

1. ア フ ギ ミ ヨ ノ  
 2. み よ や ひ こ あ き ひ に

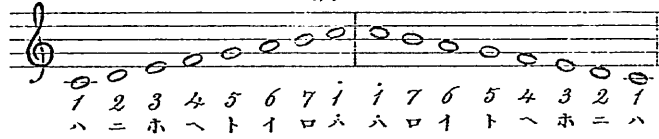
タ カ ネ ノ イ ヤ タ カ  
 に ー は ふ さ く ら に ク

ヒ イ ズ ル ク ニ ノ ソ ノ ス ガ  
 や ー ま と じ ち ち ハ あ ら 3 3

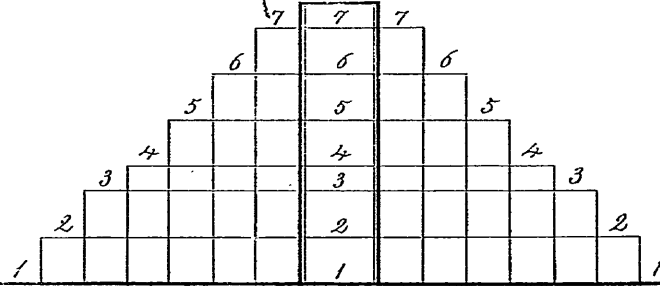
〔注意〕 此課ノ初段ニ掲ゲタルハ、律旋法五聲音階ノ諸音ヲ、數字及假字唱号(「テ」「チ」「ツ」「ト」等)ヲ假字唱号ト稱ス)ト對照シテ、相互ノ關係ヲ示シタルモノナリ。又抑ぎ見上ノ曲ヲ再出シタルハ、生徒ノ既ニ習熟セル曲調ヲ利用シテ、數字及假字唱号ヲ教ヘ、容易ニ其關係ヲ悟ラシメンガ為ナリ。次ノ皇御國ノ曲モ、律旋法五聲音階ヨリ成、レルモノナルニヨリ、此ニ疊贅セリ。コレ亦最初數字及假字唱号ニテ練習シ、終ニ歌詞ヲ授クベシ。



### 自然長音階



原階音圖



### 階音豫習

1, 2—2, 1—1, 2, 3—3, 2, 1—1, 2, 3, 4—4, 3, 2, 1—  
 1, 2, 3, 4, 5—5, 4, 3, 2, 1—1, 2, 3, 4, 5, 6—6, 5, 4, 3, 2, 1—  
 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1—1, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1—

(注意) 此課ハ、自然長音階ノ學ニ  
 入ルノ門ナレバ、初段ニハ、其模範  
 タルベキハ、調ノ各音ヲ、譜表ニ記  
 シ、之ニ附スルニ階名ト音名トヲ  
 以テセリ。中段ナルハ、自然長音階  
 ノ原圖、下段ナルハ、音階練習ノ為  
 ノ用ヲベキ教課ニテ、之ヲ上圖ニ  
 適用シ、音級毎ニ上下スルコト、  
 恰モ階級ヲ上下スルガ如クスベ  
 シ。但第七音級ニハ止ラズシテ、直  
 ニ第一音ノ甲ニ至ルハ、旋法上然  
 ラザルヲ得サルノ理アルニヨル  
 モノナリ。

### 發音練習

#### 二第

ワ	エ	イ	ヲ	ウ	6	ヌ	ノ	ニ	ネ	ナ
ラ	レ	リ	ロ	ル	5	ツ	ト	チ	テ	タ
ヤ	エ	イ	ヨ	ユ	3	ス	ソ	シ	セ	サ
マ	メ	ミ	モ	ム	2	ク	コ	キ	ケ	カ
ハ	ヘ	ヒ	ホ	フ	1	ウ	オ	イ	エ	ア

(注意) 此課ハ、五十音ノ各段ナル十  
 音ヲ兩分シテ、「ア、カ、サ、タ、チ、  
 セ、テ」等ヲ第一部トシ、「ハ、マ、ナ、  
 ヲ、ヘ、エ、イ、ウ」等ヲ第二部トシ、  
 各部ノ五音ヲ一連トシテ、五階音階  
 ニ配シ、以テ發音練習ノ用ニ供シタ  
 ルモノニシテ、其主旨音前ニ示シタ  
 ル所ニ異ナルヲナク、教授法モ概テ  
 前ニ述ベタルガ如シ。但發音ノ結合  
 ヲ、種々ニ變化スルハ、其練習上最モ  
 肝要ナルコトナレバ、縱横、左右、逆斜  
 等、各種ノ行法ニヨリ、變通ヲ多クス  
 ルヲ可トス。

習練階音

下	3
三	2
六	1
四	7
一	6
下	5
二	4
三	3
三	2
六	1
ロ	
イ	

華士

4/4 5, 5, 6 | 3, 3, 2, 3 | 5, 5, 5, 6 | 3, 1, 1, 0 |  
 (1) クーモンビユルタカチホノ

(ハ調) 5, 5, 6 | 3, 3, 2, 1 | 2, 2, 2, 3 | 1, 1, 1, 0 |  
 ターカネオロシニクザモキモ

6, 6, 6, 5 | 6, 6, 6, 5 | 6, 6, 6, 5 | 6, 1, 1, 0 |  
 ナービキフシケンオホミヨラ

1, 1, 2 | 6, 6, 5, 3 | 2, 2, 3, 2 | 1, 1, 1, 0 |  
 アフーゲケフコンタノシケレ

〔注意〕記元節ノ歌ハ既ニ生徒ノ其曲調ニ熟セルモノナレバ此ニ掲出  
 シテ数字ヨリ譜表ニ移スノ練習ニ供ス。此曲中間々歌詞ノ字割ニヨリ  
 音符ノ分合ヲ要スル所アリ。故ニ此ニテ其分合ノ方法ヲ教フベシ。又次  
 ノ曲ハハ調ノ應用ヲ授ケンガ為ナリ。但其初段ニ於テハ再唱記号ノ章  
 第三段ニ於テハ連ノ記号ノ事ヲ併セテ教フベシ。

4/4 5, 5, 6 | 3, 3, 2, 3 | 5, 5, 5, 6 | 3, 1, 1, 0 |  
 (2) うなばらな一七うはにやすの

(3) アーマツヒツギノタカミクラー  
 (4) せーらにかがやくひのもとの

5, 5, 6 | 3, 3, 2, 1 | 2, 2, 2, 3 | 1, 1, 1, 0 |  
 (ハ調) いけの おもより なほひろき  
 チヨロヅーヨニに ウゴキナ  
 よろづの くーにに たやの な

6, 6, 6, 5 | 6, 6, 6, 5 | 6, 6, 6, 5 | 6, 1, 1, 0 |  
 めぐみの なーみに あみしよを  
 モートキサダメシソノカミヲ  
 ーにの みけしら たてしよを

1, 1, 2 | 6, 6, 5, 3 | 2, 2, 3, 2 | 1, 1, 1, 0 |  
 あふーぐけふとそ たのれけ

紀元節

一、雲にまひゆる高千穂の  
 高根おろくに  
 艸も木も  
 靡きふらん大和代を  
 仰ぐふとそを  
 樂ハ一々れ

二、うなむくたきも殖安の  
 池の面より  
 かなひろまき  
 恩の波いあ〜世は  
 仰ぐ今日こそ  
 たの〜き

三、天はひろまきの高御座  
 千代萬世り  
 うむきながら  
 基きだめ〜そのかき  
 仰ぐふとそを  
 樂一々れ

四、天よかかやく日乃本流  
 とろろづの國よ  
 たぐひなまき  
 國の〜らた〜世と  
 何ふとけふとそ  
 たの〜けま

下	7
三	6
三	5
三	4
三	3
イ	2
下	1
三	7
三	6
三	5
三	4
三	3
三	2
三	1
イ	(ハ調)

**調ト**

**習練階音**

1, 2, 3, 4, | 5, 3, 1, |  
タ, テ, ナ, ラ, | ト, チ, タ, |

1, 2, 3, 4, | 5, 4, 3, 2, | 1, |  
タ, ッ, ッ, ッ, | ッ, ッ, ッ, ッ, | タ, |

**注意** 上圖ノ如ク、ハ調ニ於テハ音名ノ位置ト、階名ノ位置ト、能ク一致スレドモ、他ノ調ニ於テハ、常ニ相一致セズ、オルガン、又ハ洋琴ノ黒鍵ヲ用ヒサルヲ得ズ。即チ或ル音ヨリ、上へ半音(一律)上ルヲ、嬰ト稱シ、下へ半音(一律)下ルヲ、變ト稱ス。此課ニ掲ゲタル調ニテハ、上圖ノ如ク、ハ音半音上ル故嬰ノ記号ヲ、譜表ノ第五線、即チハ音ノ処ニ附ス。之ニヨリテ、此曲ハ、ハ調ニシテ、ハノ音ニ在ルヲ推知スルナリ。何レノ曲ニデモ、嬰變記号ノ數ト位置トニヨリテ、ソノ何調タルヲ知り得ベキコトヲ教フベシ。

第十二

春 秋 春 秋 春

マノののル  
マドのまヨク  
サカセキミ  
サヤ志こヒツ  
クナラナカキ  
ラギギガリヒ  
モモくはトノ  
エモさいモカ  
ミエキシロガ  
ソノイイトモ  
ノデキモイ  
ヌメぬニマ

ヨ上ルキ  
ノのノ  
ノのト  
ヤヤバ  
オカカ  
ミミナ  
ツツク  
ママリ  
ツツニ  
リリケ  
ヲセリ

スナキ  
スナキ  
ノのノ  
ララニ  
ミミナ  
ココラ  
トコヒ  
ノのテ  
ツツク  
カカニ  
ヘヘタ  
ママミ  
スナモ

ハオオ  
ルキヤ  
ノのノ  
ソセマ  
ララツ  
ココリ  
ソセヤ  
ソセヤ  
ノのツ  
ドガカ  
カカフ  
ナナラ  
レレン

春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ  
春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ

春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ

春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ

春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ

春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ

春 山はさくらももももめぬ  
秋 代々の光りともめぬ

第十四



1. コキフルニハノサムケキアシタ  
 2. あきかせをよぐささびしきゆふべ

オヤドリコトリムラガリツドヒ  
 おむかひのむりにねぐらをとたづね

チウチウチウトサヘヅリアヒテ  
 かうかうかうとたにやどりあふて

エヒラフスズメカハユシヤサシ  
 とびゆくからすかかハユシヤサシ

雀鴉 作者 未詳  
 作歌 小田 湊藏

一、五つ子やのやろとらゝあ  
 ねや子よむぐやほい  
 ちりちりさけへはうあひて  
 餌ひらふめとやうやせし

二、林風をよみしづゆあひ  
 向ひの森ふれなふたつと  
 かうかうと親をよみ  
 とびゆくけりけりやせし

(注意) 此課ハ八分音符ヨリ成レル樂  
 曲ノ練習ニ資シ以下二課ハ半音符四  
 分音符八分音符ノ活用及音名階名唱  
 号等ノ練習ニ資スル者ナリ。

第十五



1. 1, 1, 1, 2, 3, 2, 1, 5, 5, 5, 6, 5, 2, 0,  
 2, 2, 2, 2, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 2, 2, 0,  
 1. ウマサヘイサムマシテヤヒト  
 2. はたさへなびくましてヤヒト

5, 2, 2, 2, 3, 1, 1, 2, 1, 2, 3, 2, 1, 0,  
 ト, テ, テ, テ, チ, タ, タ, テ, シ, ヅ, メ, の, テ, 2, 2,  
 コ, レ, コ, ソ, ク, ニ, マ, シ, ズ, ノ, テ, ヒ, ト



武夫 作者 未詳  
 作歌 阪正臣

一、馬をいぢまうてや  
 こねごとを  
 志河めけん

二、けんとさへ靡くやてや敵  
 これたを君を  
 まよる人

(注意) 此課ニ於テハ、四分音符トハ  
 分音符トノ關係ヲ教ヘ、又四分音符  
 ノ後ノ附點ハ、八分音符ニ等シキ事  
 ヲ教ヘ、併テ拍子ノ讀方及拍方ヲモ  
 教フベシ。

第十五

1. ウヘノノ ハナニ ヒグラシ ヤ  
 2. ひも うら らかに ひがしや ま

アスハ アサクサ アスカヤ マ  
 ぎをん きよみづ けりーらく じ

ココロの ゴコロニ ムカフジ マ  
 はなの さかりは みやこび こ

ハルノ アソビツ ノドカナ ル  
 いへち わすれて あをぶら ん

都の花 作曲 納所舞次郎  
 作 著 未 詳

一 上野の花よりどりや  
 あはハ浅草らすふ  
 とどろぐふむふふ  
 春は越ど乃どろけふ

二 日よみかきいびり山  
 院さん清水ちきう寺  
 花のゆくハ都人  
 とどろきし遊ばん

第十六

1. アシタニ ユフベニ オコタラズ  
 2. あさりて えたる くひもの

トキヲバ ツゲル ニハトリ ノナ  
 こもよも わかつ にほとり のな

クコエキ ケバオ ヤドリーハカ  
 くこえき けバオ ヤドリーハカ

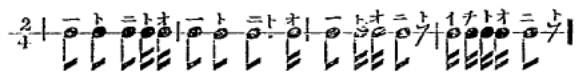
ケロカケ ロカケ ケロカケ ロ  
 よひよひ よひ よひ よひ よひ

鶏 作 著 未 詳  
 作 歌 服部元彦

一 河ふゆふゆとて  
 時を待つて  
 ほとりよ  
 なくこえきよけ  
 松やどりや  
 カケロくカケロく

二 あさうそそそそくひあは  
 とどろきわつ  
 にそそそ  
 なくこえきよけ  
 ひたひた  
 ヒヨクヒヨク

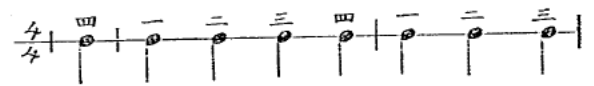
第 一 章



(注意) 此課ハ、十六分音符ヲ教ヘンガタメニ設ク。又此曲ニ依リテ、及始記号ノ事ヲ教フベシ。

春の野遊 作畧 未 詳  
作歌 阿保 督 卷

第十七



(注意) 樂曲ノ拍子ニハ、強音部ト弱音部トアリ。四拍子ナレバ、二三ハ強ニシテ、二四ハ弱ナリ。此課ハ、弱音部ヨリ起ル例ヲ授クルモノナリ。

こまのわらわの  
いそつとて  
瓜をんりそねり  
守り夜あそび  
かやぬまば  
らやをまきとて  
ついで夜そり

伯の渡 作曲 小山作之助  
作畧 未 詳



下	3
三	2
三	1
六	7
四	6
一	5
下	4
三	3
五	2
三	1
六	
ロ	
イ	

調 二

1 2 3 4 5 6 7 1 2  
ニ ホ嬰へ ト イ ロ 嬰ハ ニ

習練階音

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1, カ, |  
カ, ケ, キ, ガ, コ, ク, ケ, |  
イ, カ, | 6, 5, 4, 3, 2, 1, カ, |  
イ, カ, | 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, カ, |

ニ記スルノヲ學バシムベシ。

(注意) 此課ハ二調ヲ教ヘンガ為ニ  
設ク此調ニテハト調ヨリモ猶一個  
ノ嬰音ヲ加ヘ即チ嬰ハ嬰ハトナル  
ナリ又まなぐノ曲ハ既ニ此調ニテ  
習熟セルモノナレバソノ歌調ニヨ  
リテ曲調ヲ想起セシメ數字及譜表  
ニ記スルノヲ學バシムベシ。

まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ

第二

1. タカラテナ フ タカハア レード  
2. ひとみな の こころの たまを  
マゴコローノ クモク タマ マニ  
みガキアゲテ ミく にの ひか ーリ  
シマ カミ ジン トゾー オモ ー フム

玉 作曲 小山作之助  
作歌 東久世伯

一 心あはれ ちのたまを  
まなぐ の  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ  
まなぐ



第三

第一  
ナギニ スガル アノカハ ツ  
まきげに ねふる あ のくさ は  
イ ク タ ビ ミ ジ ニ オ チ ツ ラ ン  
い く た び こ ま に ふ ま れ け ん  
オ チ タ ル マ マ ニ ヤ ミ ヌ ル ナ ラ バ  
ふ ま れ ま ま に か れ ぬ 3 な ら ば  
タ カ キ ニ イ タ ル ト キ ア ラ ジ  
ぬ め の の ベ こ な ら ま し や

忍耐

作曲者 未詳  
作歌 阪正臣

一 折れさるるあはれ  
いふたびおぼろけらん  
是れもさるるあはれ  
高き山にたつたてて  
二 牧場よおぼろけはれ  
おぼろけたお馬よ踏まらん  
おぼろけたお馬よ踏まらん  
おぼろけたお馬よ踏まらん

友愛

作曲者 未詳  
作歌 谷勤

一 学ばぬものなきは  
うらやまなきは  
二 かなしみは  
いふたびおぼろけらん  
三 あやまちあはれは  
ほろけらん

第三

第一  
マカア ナタヤ ビミマ ノにナ トニア ソコラ ノラバ  
アツタ サツガ ユメヒ フもニ ゴおイ トカサ ニオメ フラホ ミラマ コラレ ソハ  
ナなト ラクモ セゼニ シマヨ シヒロ ヘハコ ノリビ ニキア ハバハ ラキヤ  
3  
4

(注意) 楽曲ノ拍子ニハ、二ノ數ヨリ成リ立テルモノト、三ノ數ヨリ成リ立テルモノトアリ。二拍子四拍子等ハ、前者ニ屬シ、三拍子六拍子等ハ後者ニ屬ス。此課ハ、三拍子ヲ授ケシ為ナリ。

### 拍子練習

Four sets of rhythmic exercises:  
 1. 2/4: 一ニ三四 (quarter notes)  
 2. 4/4: 一ニト三四ト (quarter notes)  
 3. 4/4: 一トニト三ト四ト (quarter notes)  
 4. 4/4: 一トニト三ト四ト (quarter notes)  
 5. 4/4: 一トニト三ト四ト (quarter notes)  
 6. 3/4: 一ニ三四 (quarter notes)

**(注意)** 通常唱歌ニ用フル拍子ハ、此マデニテ大抵授ケテリタレバ、各種ノ拍子ヲ一纏シテ、交互ノ關係ヲ明ニシ、且其讀方及拍方ニ熟セシムベシ。九ツ拍子ノ練習ニハ、初ハ、一二三四等ノ數ヲ用ヒテ、其理ヲ解セシメ、生徒ノ漸ク熟スルヲ待テ、其音其他適當ノ子韻ヲ假リテ、之ガ應用ヲ授クルヲ可トス。單ニ數ノミニ依リテハ、容易ニ精細ナル關係ヲ了知セシメ難キモノナリ。又上圖ニハ、同一ノ線ノ長サヲ以テ、同一ノ時ノ長サヲ表シタレハ、教授ノ際之ヲ實地ニ利用センコトヲ要ス。

### 變口調

Musical notation for a key change exercise. Notes are labeled with numbers 1-7 and Japanese characters: 一 (イ), 七 (イ), 六 (ト), 五 (ヘ), 四 (ホ), 三 (ニ), 二 (ハ), 一 (オ).

### 階音練習

Musical notation for scale exercises. Notes are labeled with numbers 1-7 and Japanese characters: 一 (イ), 七 (シ), 六 (ス), 五 (ソ), 四 (ガ), 三 (シ), 二 (セ), 一 (サ), 二 (セ), 三 (シ), 四 (ガ), 五 (ソ), 六 (ス), 七 (シ), 一 (イ), 二 (サ).

二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

第廿四 (変口調)

### 春景

作曲者 未詳  
作歌者 未詳

五五のほろりたる春の  
 風は、けしきあけぬ  
 けしきあけぬ  
 けしきあけぬ

**(注意)** 此課ハ、變口調ヲ教ヘンガ爲ニ設ク。此調ハ、ハ調ヨリモ稍一個ノ變音ヲ増シ、変口變音ノ二トナレリ。唱号ニ、ハ調ニハ、行ヲ用ヒ、此ニハ、行ヲ用ヒケルハ、發音練習ノ變化ヲ為サンガ爲ナリ。又此歌曲ハ、譜表練習ト、弱起拍子ノ復習トニ資センガ爲ナリ。

調イ

下  
嬰ハ  
嬰ハ  
三  
二  
一

5  
4  
3  
2  
1  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1

1 2 3 4 5 6 7 1  
1 口 嬰ハ ニ ホ 嬰ハ 嬰ト 1

習 練 階 音

1, 2, 3, 4, | 5, 3, 1, |  
1, 2, 3, 4, | 5, 3, 1, |

1, 5, 3, 1, | 2, 3, 4, - |  
1, 2, 3, 4, | 5, 3, 1, - |

4, 5, 6, 7, | 1, -, 0, - |  
4, 1, 2, 3, | 4, -, 0, - |

(注意) 此課イ調ハ、ニ調ヨリ階嬰音  
一個ヲ増シ、ハ、トノ三音嬰トナル。  
大和の御氏ヲ數字ニテ獨ゲタルハ、  
八分音符十六分音符ヲ交ヘタル複  
雜ノ者ヲ譜表ニ移スヲ教ヘン為也。

第廿六 (イ調)

5, | 1, 5, 3, | 3, 5, | 3, 3, 2, 2, | 1, 0 |  
1. ア ハレアハレ ヤマトノミタミ  
2. あ はれあはれ やまとのみたま

1, | 3, 5, 3, | 3, 2, 2, 2, | 2, 1, 1, | 1, - 7, |  
コトキトキニハカゲヲハゲミ  
ことあるときにはわがみけをマ

6, | 6, 1, 5, 4, 3, | 5, 3, 1, | 2, 7, 1, | 0, ||  
ココロトツニクニヲトマセ  
こころひとつにくれをまへ

孝子 作曲 グリス氏  
作歌者 未詳

つれやすの

酒次郎

親り存心

海へ

牛馬さへ

むちうい

こゝろと

川と

律 七七

1. ヨルヒルタ テンヒソ レヲマモリ  
 2. いづればか どべにわれをれくり

アシキライ マシメヨ キラススノ  
 かへればは ひりにわれをまてて

ミナビクモノ ハハハハヒトヨ  
 ははてふいとけいよきとるよ

大和の御民、作曲者 永 詳  
 作歌 阿保曾卷

母 作曲 シルヘル氏  
 作歌 阪止臣

一、夜ひりくまきいわきを穿す  
 あーれを戒めしとくを初め  
 いちびくもこれか母てふに...  
 二、出まは門をくさるるを送り  
 帰まは這入りよこれを持て  
 けりて人まじり良きとよよ

法 旋 律  
 調 越 壹

宮 商 嬰 角 徵 羽 嬰 宮  
 2 3 4 5 6 7 8 9

テ チ ラ ト ツ リ タ

3, 5, 6, | 2, 4, 5,  
 チ, ト, ツ, | 方, タ, ち,

2, 7, 6, | 5, 3, 2,  
 ち, リ, ツ, | ト, チ, テ,

〔注意〕律旋法ハ我古樂ノ歌曲ハ多ク準依セル  
 所ノ旋法ニシテ宮商嬰角徵羽嬰羽ノ七音ヨ  
 リ成ル其宮ハ前ニ謂ヘルガ如ク自然長音階ノ  
 二當レリ而シテ壹越ノ律ハ殆ド二音ニ同ジ  
 久黄鐘ハ二音ニ均シキニ依リ二種ノ音律ヲ對  
 照スレバ上圖ノ如キ關係トナレ壹越調ニテ二  
 音ニ宮ヲ定ムレバ自然長音階ノ二調ト同ジク  
 ゴルガシ又ハ洋琴ノ黒鍵ヲ用ヒズシテ壹越平  
 調勝絶調黃鐘變神ノ各律皆出テ以テ壹  
 越律旋法ヲ組成スルヲ得ルナリ。  
 次ニ揚ゲタルハ君代ノ曲ニシテ既ニ生徒ノ  
 習熟セルモノナレバ之ニ律旋唱号(宮商嬰商  
 角徵羽嬰羽)ト數字唱号及假字唱号ヲ配シテ  
 交互ノ關係ヲ明ナラシム以下ノ諸曲ニモ皆此  
 法ヲ適用シテ其理ヲ了解セシムベシ。  
 神武天皇祭ノ歌第一ハ天皇ノ武德ヲ頌シ第二  
 ハ其文德ヲ頌シ第三ハ今日ノ祭典ニ當リ御成  
 徳ヲ欽仰スルノ意ヲ述ベタルナリ第三ノ歌詞  
 中ニ在ルワナホツキヲキハ古語ニシテ低頭ヲ  
 テ拜スルノ義ト知ルベシ。

第廿九

ニもホ  
口くナ  
コみモ  
コカマ  
ミタイ  
キレク  
ケカト  
タゴ  
クバガ  
シバ  
フエマ  
フアイ  
ニもホ  
レサナ  
ツクビ  
キムネ  
ヒタウ  
サめキ  
クダヌ  
イニツキ  
ルにネ  
ノとナ  
サエ  
イヤウ  
テモル  
ツクビ  
キムネ  
ヒタウ  
サめキ  
クダヌ  
イニツキ  
ルにネ  
ノとナ  
サエ  
イヤウ  
メレテ  
ヅムケ  
シホサ  
チレリ  
ウヤフ  
フにフ  
ノウタ  
モツカ  
ルのノ  
グミカ  
ラハ  
アミ  
セケナ  
マヤグ  
テガフ  
タカア  
井にゲ  
トよカ  
モチミ  
ノハ  
ニモシ  
クミカ  
ミム

神武天皇祭 作曲 芝 葛 鎮  
作歌 阪 正 臣

一 雄々〜健きみとるに  
勇めり〜引つ連る  
あふもはを伐ち法光  
るに國は〜おまじとるに

二 仰がた〜高き屋  
ヤチ〜定め民〜  
恩の露〜代御孫〜

三 在り〜  
〜  
御陵の方を〜

若れ〜

第廿九

キミガヨハチヨニヤチヨニ  
ササレイシノイハホトナリテ  
ユケノムスマーデー

五々 (壹越調)

宮、 ニ、 テ、 キ	翳、 ノ、 タ、 ミ	宮、 ノ、 ツ、 カ	商、 ノ、 チ、 一	角、 ノ、 ト、 よ	商、 ノ、 チ、 一	宮、 ノ、 テ、 ハ	一、 一、 一、 一	商、 ノ、 チ、 一	角、 ノ、 ト、 よ	徵、 ノ、 ツ、 一	觥、 ノ、 ツ、 一
宮、 ノ、 テ、 キ	羽、 ノ、 リ、 チ	徵、 ノ、 ツ、 よ	角、 ノ、 ト、 に	商、 ノ、 チ、 さ	角、 ノ、 ト、 ぎ	徵、 ノ、 ツ、 れ	一、 一、 一、 一	宮、 ノ、 テ、 い	翳、 ノ、 タ、 し	宮、 ノ、 テ、 の	一、 一、 一、 一
商、 ノ、 チ、 い	角、 ノ、 ト、 は	徵、 ノ、 ツ、 は	角、 ノ、 ト、 と	商、 ノ、 チ、 な	角、 ノ、 ト、 り	宮、 ノ、 テ、 て	一、 一、 一、 一	徵、 ノ、 ツ、 て	翳、 ノ、 タ、 け	宮、 ノ、 テ、 の	一、 一、 一、 一
翳、 ノ、 タ、 む	宮、 ノ、 テ、 一	徵、 ノ、 ツ、 チ	角、 ノ、 ト、 一	徵、 ノ、 ツ、 生	觥、 ノ、 ツ、 二	宮、 ノ、 テ、 で	一、 一、 一、 一	一、 一、 一、 一	一、 一、 一、 一	一、 一、 一、 一	一、 一、 一、 一

### 調 鐘 黄

双	徴	6
下	角	5
三	商	4
三	商	3
下	宮	2
三	宮	2
ハ	羽	1
下	羽	1
三	徴	6
三	角	5
ハ	商	4
下	商	3
三	宮	2

1. カツ シカ ワセ ノ ヤ ツ カ ホ フリ  
2. か つ し か わ せ の に ひ か ぼ り

シ ル ニ モ カ ヒ ニ モ ツ ク ラ セ テ  
シ ー ろ き く ろ き を く み わ け て

ノ サ セ タ マ マ ハ ル ニ ヒ ナ ハ ハ  
モ ナ ヘ ま つ ら す か ず か ず せ

カ ム ヨ ノ マ マ ノ ミ ワ ザ ナ リ  
カ ム ヨ ノ マ マ ノ ミ ワ ザ ナ リ

(注意) 黄鐘調ニ於テハ黄鐘盤波神仙壹越平調下無双調ノ諸律出ツルナリ。而シテ下無ハハトトノ間ニ在ル故嬰ハトシ譜表ニハ一個ノ嬰音ノ記号ヲ要スルナリ。コレヲ自然長音階ニ比スレバ其形ト調ト同シク見ユレド此調ノ宮ハ黄鐘即チイ音ニテハヨリハ一音上ニアリ。總テ律旋法ニテハ何ノ調ニテモ其宮ハ常ニ自然長音階ニ於ケル同形ノ調ヨリモ一音上ニアルコトヲ知ラシムベシ。

律名又ハ唱号ノ右肩ニ甲トアルハ甲音即チ第一音ヲ表シ又黄皿神壹平等トアルハ黄鐘盤波神仙壹越平調等ノ略字ナリ。

前葉ニ掲タル神嘗祭ノ歌詞中ニシルトアルハシルカバニテ今ノ粥ノコトガヒトアルハ元來稻穂ノコトナレド古來飯ノ義ニ用ヒテ祝詞ニハ汁ニモ類ニモナド多クアリ。ニヒシボリハ新釀ノ義シロキトクハ白酒黒酒ニテ其製法式ニアリ。清白ニ様ノ酒ノ義トスルモ妨ガナカラシ。

### 黄 鐘 調

1. カツ シカ ワセ ノ ヤ ツ カ ホ フリ  
2. か つ し か わ せ の に ひ か ぼ り

シ ル ニ モ カ ヒ ニ モ ツ ク ラ セ テ  
シ ー ろ き く ろ き を く み わ け て

ノ サ セ タ マ マ ハ ル ニ ヒ ナ ハ ハ  
モ ナ ヘ ま つ ら す か ず か ず せ

カ ム ヨ ノ マ マ ノ ミ ワ ザ ナ リ  
カ ム ヨ ノ マ マ ノ ミ ワ ザ ナ リ

新嘗祭 作曲 林 廣 繼  
作歌 加部 嚴 失

一、嘗飾ヲ振テ常ノ味ヲ知ル  
 志ヲ入ルヲ知ルヲ知ルヲ知ル  
 志ヲ入ルヲ知ルヲ知ルヲ知ル  
 志ヲ入ルヲ知ルヲ知ルヲ知ル

二、か川ノ水セシテ新嘗祭  
 志ヲ入ルヲ知ルヲ知ルヲ知ル  
 志ヲ入ルヲ知ルヲ知ルヲ知ル  
 志ヲ入ルヲ知ルヲ知ルヲ知ル

神ノ心ヲ知ルヲ知ルヲ知ル

恭儉己レヲ持シ  
 博愛衆ニ及ホシ  
 學ヲ修メ業ヲ習ヒ  
 以テ智能ヲ啓發  
 シ德器ヲ成就シ

(注意) 教育ニ関スル勸語ノ 聖旨ヲ貫徹  
 シ奉ルハ教育者ノ須臾モ怠ル可ラザルコ  
 トナレバ此ニハ恭儉博愛修學習業啓發成  
 德ノ六項ヲ歌詞ニ綴リ其萬分一ノ裨補ク  
 ラシメンコトヲ謀リタリサレド其深旨ハ  
 短簡ナル詞モテ言ヒ盡スベキニ非レバ教  
 授ノ際特ニ注意シテ懇ニ説示セラレゾゴ  
 トヲ望ム  
 次ニ掲ゲタル樂曲ハ古來越天樂ト唱ヘテ  
 有名ナルモノナリ何人ノ作ニ出ヅルカハ  
 諸説區々ニシテ詳ナラザレト世ニ漢ノ張  
 良ノ作ナラント言ヒ傳フ加藤櫻老ノ如キ  
 ハコレモト周ノ遺音ニシテ孔子ノ嘆美セ  
 ラレタル韶ノ樂ナルベシトマ宮澤讀セリ  
 此曲元來平調ナレドモ幼年生徒ノ音域ニ  
 適セシメメンガ為メ此ニハ黃鐘調ニ移シタ  
 リ

第卅一

1. ワガミハタカラト オコナヒト  
 2. よのたみ たくーさの うきめを ば

フタツフ モーレル ウツハナ リ  
 ねーのが ところらに つみそへ

ウツハニ ミーテル ミヅノゴ ト  
 かくる なさけの そのつ ゆ ぞ

コー コロ シテ コソ モ ツ ベ ケ  
 めぐみの シー コミ と な リ ぬ ベ レ

恭儉博愛  
 作曲者 未詳  
 作歌 伊澤修二

一. 我身を賤くおとちかしくと  
 二つをよきとくちかしくと  
 三つをよきとくちかしくと  
 心してこそよきとくちかしくと  
 二. 世の民外一のたれめをば  
 おのぶらふらふとくちかしくと  
 がくちかしくとくちかしくと  
 けんぐみの海とくちかしくと

調 平

双下	宮
三六六	羽
三六六	徵
イ	角
下	商
三六六	無下
三六六	調平
上	羽
三六六	上
四	徵
黄	

(注意) 平調ニ於テハ、平調、下無、双調、黄鐘、盤波、上無、壹越ノ諸律出デ、上無ハ、嬰ハ、ニ當ルヲ以テ、前ノ黄鐘調ニ比スレバ、譜表上ニ猶一個ノ嬰音ヲ増シ、自然長音階ノ、ニ調ト、其形ヲ同クス。

次ニ掲ゲタル元始祭ノ歌詞中ニムタトアルハ、古語ニテ、共ニノ義、ミシルシハ、天津日嗣ノシルシニテ、即チ三種ノ神器ヲ指シ、テロカミハ、ツガミノ古語ナリ。此歌第一ハ、天皇陛下ノ御祭典在ラセラル、ノ、イトモ尊キヲ詠ジ、第二ハ、臣民ノ謹テ此日ヲ奉祝スルノ意ヲ述バタルナリ。

4/4 2/2 | 4, 6, 5, 6 | 2, 2, 2, 1 | 2, 1, 2, 0 | 4, 6, 5, 6 | 2, 2, 2, 2 | 2, 2, 2, 1 | 2, 1, 2, 0 |

1. マナビノ チマタ カズホクニ ニシニ ヒガシニ ワカルレド  
2. ロザテワ ワザハ シナホクニ ノウコウ シウト ワカルレド

1. がみの ひめてし ちよづの たから みてたる ちよのく ら  
2. はちづの ふのま あめつち も くまなく てらす まじろの

4/4 2/2 | 4, 6, 5, 6 | 2, 2, 2, 1 | 2, 1, 2, 0 | 4, 6, 5, 6 | 2, 2, 2, 2 | 2, 2, 2, 1 | 2, 1, 2, 0 |

1. タル キハミハ コスチノ ミクニ ミチノ ホカザキ  
2. ワカレヌ モーハ ワガクニ ヲ トマザン トーテノ ココロナ

ひらまん かざの もとみず レ まなべや ならへ おこたら で  
とくの ひかりの ますがが み みかげや ちりル くもりなく

啓智成徳

作曲者 未詳  
作歌 伊澤修二

一 神の秘めしき子孫のたからみとてお恵の庫  
開らん世の心を教ふるまへばかたしき恵らんで  
二 萬の物もあはれつちよくゆかき照らす心は  
徳の光の子守燈みかげやちよくゆかき

作曲者 未詳  
作歌 伊澤修二



調 涉 盤

又下	嬰	宮	2
平	羽	商	3
上	徵	角	4
無	無	無	5
越	嬰	商	6
上	羽	角	7
盤	宮	嬰	8
貴			

1. アノツチメノムクカギリナク  
2. わがすめくくのあきらけき

ツタヘリマシマステミシルシ  
ハカリアユギテミツヒ

ヲロガミンイハヒリイクヨロヅヨ  
テラさんかきリイハヒナガ

マツラスケフコソタケレ  
トほイけふこそめ

(注意) 盤涉調ニ於テハ、盤涉、上無、壹越、平調、下無、鳧鐘、黄鐘ノ諸律出テ、鳧鐘ハ、嬰トニ當ルヲ以テ、譜表上ニハ、ハ、ハ、ハトノニ音、嬰トナリテ、顯ハレ、其形、自然長音階ノイ調ト同一ニナルナリ。

次ニ掲ゲタル孝明天皇祭ノ歌詞中ニ、月ノ輪云々トアルハ、天皇ノ御陵ノ名ニ縁アル月ニ寄セテ、其御事蹟ヲ、比ノ體ニ叙シタルナリ。又神嘗祭ノ歌詞中ニ、タナツモトアルハ、種物、タノ、ニハ、恩頼ト田實トノ二者ニ通ジ、ミテグラハ、幣帛ノ義ナリト知ルベシ。

○卷之二

1. アノツチメノムクカギリナク  
2. わがすめくくのあきらけき

ツタヘリマシマステミシルシ  
ハカリアユギテミツヒ

ヲロガミンイハヒリイクヨロヅヨ  
テラさんかきリイハヒナガ

マツラスケフコソタケレ  
トほイけふこそめ

元始祭 作曲 山井基萬 作歌 笑 蓉

一、天地の共らびやなく  
傳へずすす所なく  
拜しよひ葉葉あまた  
おのれよと尊とては

二、吾々を國の司とす  
先あまて天はわれ  
照まんなりりや遠長  
いほふ今もそのま

第卅三

1. シグレノソラノハレマナク  
2. シイマはめいぢのふほみよの

ウキクモニコソカクリレケレ  
めでたきみよとぞなりにけふ

ソノツキノワノウシトラ  
けふみまつりにあめのし  
ニた

アグモタカキミミイ  
みつをあふがぬひと  
サぞ  
ヲな  
ま  
や  
き

孝明天皇祭 作曲 多 忠廉  
作歌 加部 巖夫

一 時雨のときれ晴向ぬく  
うれ雲よりを隠まされ  
と乃月の輪のうらやま  
仰ぐも耳をみよまを  
二 今は明治の大昭代は  
あでなげは代々を  
あふまゆりやまの  
は雲を仰ぐ  
人とまよ

第卅四

1. カみつノサツケシタナツモノ  
2. みつほゆたけきあきびとに

チアキナガアキタノルア  
おいくるくーにのなれし  
オホミツカナこのみま  
けふかえなへあみま  
ヨコヤマノチトイヤタカシ  
ほつほはかみみにたてまつ

神嘗祭 作曲 東儀 季芳  
作歌 加部 巖夫

一 神のまけられたるれ  
千林長あきたのあや  
大い使のまを  
よこ山乃をいや  
二 瑞穂中けき林の  
むらとく國の名も  
くみ神嘗祭の  
初穂は神よとま

第七

4/4 time signature, key of D major. The score consists of four staves of music with corresponding lyrics below each staff.

Lyrics:   
 3, 1, 7, 1 | 1, 7, 6, 1 | 0, 2, 3, 2 | 4, 3, 2, 3, 7, 6  
 ネ コ ノ ヲ ル コ ト モ シ ラ ス  
 1, 7, 0, 6 | 7, 2, 3 | 4, 6, 4 | 3, 7, 4 | 3, 7, 2, 3, 4 |  
 ニ タ ナ ノ ウ ヘ ニ ア ソ ベ ル ネ  
 3, 7, 1 | 0, 2, 3, 1 | 4, 6, 4 | 3, 0, 3 | 1, 7, 1 |  
 ス ミ コ ネ ズ ミ ノ イ ノ チ  
 1, 7, 0, 6 | 6, 7, 6 | 7, 2, 3 | 7, 7, 2 | 3, 2, 1 | 3, 7, 6 |  
 ノ ホ ド ゴー ア ハ レ ナー ル

小嵐  
 作曲者 未詳  
 作者者 未詳

猫の居る、いそぎ  
 命乃不きぞ  
 あまれ邪

眠まゝぬす  
 小嵐

柳れい  
 命乃不きぞ

俗樂調 第一

Staff notation with a table of fingerings on the left and lyrics below.

二ホ	3
三	2
六	1
四	7
下	6
下	5
二ホ	4
三	3
三	2
六	1
四	7
一	

Lyrics:   
 3 4 5 6 7 1 2 3  
 ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ  
 4, 5, 6, 7 | 7, 6, 7 | 4, 5, 6, 7 |  
 う き き う さ き 4-5, 4, 6, 7  
 はね 5 ふこや 7-6, 4, 3, 2  
 6, 4, 3 | 4, 3, 2 | 3, 6, 5  
 み て は ね

十五夜お月さま  
 見くはれ

作曲者 未詳  
 作者者 未詳

注意 俗樂調第一種、旋法ハ其音自然長音階ハノ位置ニ管ル。故ニボヲ至音トスレバ、  
 ノ順序ニ隨ヒ、各音皆出テ、ルガン又ハ洋琴ノ黒鍵ヲ用ヒスミテ奏スルコトヲ得ルナリ。但音ハ甚ダ稀ニ出ツルモノナルニヨリ、点線ヲ以テ之ヲ區別セリ。従来俗樂ノ唱号ニハ、  
 タレド、甚ダ錯雜シテ、一定ノ方法ヲ見出し難キニコリ、本書ニハ、数字唱号及假字唱号ヲ用ノルコト、セリ。又ハ、  
 等ノ音名ヲ用フルモ可ナリ。此ニ古來俗間ニ傳ハレル、  
 兔ノ歌曲ヲ掲ゲテ其例證トス。

ながれ—て—の—よ—に—も—  
 なた—かく—きこえ—け—り

(注意) 小鼠及養老ノ二曲ハ、俗樂調第一種ノ曲ヲ數字及譜表ニテ練習セシメンガ為ニ之ヲ掲グ。乃チ前曲ニ於テハ、其主音、 $\text{C}$ ニ在リテ、自然長音階ノ下調律旋法ノ黄鐘調ト、譜表ノ形ヲ同クシ、此曲ニ於テハ、其主音、 $\text{E}$ ニ在リテ、 $\text{E}$ 調ト其形ヲ同クス。總テ俗樂調第一種ノ主音ハ、自然長音階ノ主音ヨリ、三音上、律旋法ノ宮ヨリ一音上ニ在ルモノト知ルベシ。此ニ譜表ヲ上下二段ニ分テテ記シタルハ、上段ヲ唱歌ニ用ヒ、下段ヲ器樂(箏、オルガン等)ニ用フルコトヲ知ラシメンガ為ナリ。

お—い—を—や—し—な—ふ—  
 た—き—の—ひ—び—き—は—

養老の瀧 作曲者未詳  
 作歌足代弘訓

かゞけたるの母よ

名高き

聞えり

老をやり

たまた

ひまは

第九

みづと-りーは なにゆゑみ  
づの-うへにオ-むしもの-  
ふすよに-こほす-よ-に

水鳥

作曲者 未詳  
作歌者 未詳

水鳥はをたゆら

水はうへすむ

なほ乃々おぼ

こほすよに

(注意) 此課ハ俗樂調第二種ノ歌曲ノ練習ノ為ニ設ク前ニ述ベタル所ニヨリ此曲ノ主音ハイニ在リテ長音階ノ変ハ調ト同形ナルヲ知ルベシ又譜表ヲ上下二段ニ記シタルハ前ニ述ベタルが如シ

調 樂 俗  
種 二 第

イ	エ
ロ	オ
ハ	カ
ニ	キ
三	ク
四	ケ
下	コ
イ	カ

第三十八

たの山から 谷をさまね  
くりやぶら子流 花をまき

高山

作曲者 未詳  
作歌者 未詳

たの山から

谷をさまね

くりやぶら子流

花をまき

(注意) 俗樂調第二種ノ旋法ニ於テハ其主音自然長音階ノケニ在リテ常ニ彼調ノ主音ノ半音下ニ位ス故ニロヲ主音トスレバ譜表上ニ嬰変ノ記号ヲ要セズ此ニ世人ノ熟知セル高ハヤまからノ曲ヲ掲ゲ又終ニ歌ヘ歌ヲ掲ゲタルハ此調ノ例證トシテ容易ニ其理ヲ悟ラシメシメテ爲ナリ

### 教育歌へ歌

一ツトヤ 人と生れて忠孝をかまへし皇國の人をばし  
 ニツトヤ うつ親兄弟をばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 ニツトヤ 皆いけりつきたるをばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 四ツトヤ つかまき算盤の覚へ体操唱歌の歌よべ  
 五ツトヤ いつも尊き先生の教はをばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 六ツトヤ 多病を勉強卒業しあつて事く若くは老も君に恩  
 七ツトヤ 心を成すの學問のたまはをばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 ハツトヤ 大心をやいなひる君と國とをばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 九ツトヤ 己の身のおもたせ父母の心をばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 十ツトヤ とら國人も何ともめで皇國の譽をあげよか

第四十

オ 1, 1, 3, 1, 3, 2, 3, 1, 6, 4, 4, 3, 3, 1, 3, 2, 3, 1, 7, 0, 0, 1  
 ヒ ト ツ ト ヤ ヒ ト ツ ト ウ マ レ テ チ ヌ ク カ ツ ヲ  
 (下調) 6, 7, 1, 1, 7, 6, 3, 6, 6, 7, 6, 7, 1, 7, 6, 7, 6, 7, 0, 0, 1  
 カ キ テ ハ ミ ク ニ ノ ヒ ト デ ナ シ ヒ ト デ ナ シ

### 應用歌曲

以下歌曲ハ生徒ノ學力進歩ノ程度ヲ計リ實地應用ニ資センガ為メ掲載セリ故ニ教師ハ好機ニ投ジテ之ヲ授ケンコトヲ要ス。

一月一日

一、 年たつけふの大をばしにむを拜し日乃をばし  
 あふがぬ民は福をばしわが君ちとらひ事く若くは老も君に恩  
 ニ、 一と立つ今日れは君にばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 をばしぬ國をばしやをばし皇國千世よとらひ事く若くは老も君に恩  
 三、 自らをばし乃をばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 わまふばし其は福をばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 四、 やしあふをばしとらひ事く若くは老も君に恩  
 家をばしとらひ事く若くは老も君に恩

第五十一

オ 1, 1, 3, 1, 3, 2, 3, 1, 6, 4, 4, 3, 3, 1, 3, 2, 3, 1, 7, 0, 0, 1  
 ヒ ト ツ ト ヤ ヒ ト ツ ト ウ マ レ テ チ ヌ ク カ ツ ヲ  
 (下調) 6, 7, 1, 1, 7, 6, 3, 6, 6, 7, 6, 7, 1, 7, 6, 7, 6, 7, 0, 0, 1  
 カ キ テ ハ ミ ク ニ ノ ヒ ト デ ナ シ ヒ ト デ ナ シ

普通

普通



1. スミ ヤ ヌ ク ツ キ ヒ ハ  
2. スミ ヤ ヌ ク ツ キ ヒ ハ  
ヤー ヨー リハ ハ ヤ シ  
タミ ダレ とむ トラ スチ ニ  
マハ ナゲ べめ ココ ドモ モル

學の園

作曲 酒井良忠  
作歌 戸野周次郎

勸學

作曲 内田冬太郎  
作歌 谷 勤

一. 過ぎゆく月日は

夫ト空を予一

た一トはゆ一

まなぐ一

二. ひまゆ之にほれ

あ一ハは予一

身ふむち一

まげめ子信

楽譜

4/4

ハミン  
サほか  
シとナ  
シヤノ  
ウイヨ  
シリリ  
シトヨ  
タレレ  
ハココ  
シはハ  
ブララ  
ガレレ  
ワワワ  
ノルコ

ミテ  
ベバラ  
ブアイ  
ラムケ  
カサニ  
ニナナ  
ニナニ  
ナニミ  
モノノ  
ソハキ  
モナツ  
ノメタ

テテダ  
キリユ  
ユイノ  
ケラチ  
ワタハ  
カレノ  
ナマレ  
トマ  
ヒヤホ  
スハ  
ナシム  
マツ  
ヤハ

(全)  
ロルテ  
コエガ  
コトヤ  
ルマテ  
ウタイ  
フコラ  
シガリ  
ルガ  
シカカ  
ノセン  
リにニ  
ハクク  
ヲミミ

ズレバ  
タマナ  
タミヒ  
ミホモ  
ナホオ  
ニキラ  
ベレミ  
この一  
ウタダ  
ノホメ  
モクモ  
一ノ  
ヨハコ  
ノルコ

テテキ  
ナラツ  
ヅレタ  
カワイ  
モト  
モトメ  
ゴメ  
バのタ  
コホミ  
ノレノ  
ギヤミ  
キウキ

ルキシ  
シヤベ  
マレス  
サメク  
ヲタツ  
クモリ  
ケマキ  
ド一  
ノイカ  
クモノ  
スレロ  
一ハコ  
ヤハコ

レシ  
タケバ  
シヤム  
ノト  
タレツ  
ソトミ  
コトハ  
ヨ一  
ミガキ  
ガハ  
ミエラ  
一ハカ  
キタチ

治まり御代 作曲者 未詳  
作歌 東宮鏡磨

- 一 四方の海をよ波さづけ  
木にけ梢も風ぬびて  
安く乃どおくをさせし  
君がこゝろをいよとて出しをさ
- 二 かくよたのいきたるを  
生をありしを家をつと  
むういよをたのめし  
さいまひくとよどをれ
- 三 是れはをばす思ひかな  
君乃どをみしは  
そこののこりやとて  
ちりれまははあむし

楽譜

4/4

ハミン  
サほか  
シとナ  
シヤノ  
ウイヨ  
シリリ  
シトヨ  
タレレ  
ハココ  
シはハ  
ブララ  
ガレレ  
ワワワ  
ノルコ

ミテ  
ベバラ  
ブアイ  
ラムケ  
カサニ  
ニナナ  
ニナニ  
ナニミ  
モノノ  
ソハキ  
モナツ  
ノメタ

テテダ  
キリユ  
ユイノ  
ケラチ  
ワタハ  
カレノ  
ナマレ  
トマ  
ヒヤホ  
スハ  
ナシム  
マツ  
ヤハ

(全)  
ロルテ  
コエガ  
コトヤ  
ルマテ  
ウタイ  
フコラ  
シガリ  
ルガ  
シカカ  
ノセン  
リにニ  
ハクク  
ヲミミ

卒業式歌 作曲 山田源一郎  
作歌 山田美妙齋

- 一 業をこゝろたぐき  
となく何やのくをば  
やまを人の中わゆる  
をいれををを清く心
- 二 卒業はこれぞいやさ  
学乃もをわけて  
いよを山に  
ををわをわ
- 三 わまら身は下り  
乃どをわをわをわをわ  
なぐたのわをわをわをわ



八やまにはくまなきおのひみよ  
 つきはきよけきかげをしれ  
 わかれてとつきへぬるとも  
 たがひにこころはかはらじな(全)

四、山はくまなきおのひ見よ  
 住まき清き歌を志す  
 別まてくぬへぬとも  
 たがひにこころはかはらじな

(注意) 此歌曲ハ、小學卒業ノ  
 時ニ用フベキ者ニシテ、其第  
 一、第四ハ、全校生徒一同ニ合  
 唱セシメ、第二、第三ハ、特ニ卒  
 業生徒ニ歌ハシムベキ趣向  
 ナリ。若シ卒業生中、尚進デ高  
 等ノ學業ヲ修ムル者ト、直ニ  
 世務ニ就ク者トアル時ハ、第  
 二ヲ甲ニ、第三ヲ乙ニ、歌ハシ  
 ムル趣向トスルモ可ナリ。

明治二十五年五月三十日印行  
 明治二十五年五月卅一日出版

定價金拾貳錢

編輯者

伊 澤 修 二

東京市小石川區小日向第六天附  
 五十番地

發行兼印刷者

大日本圖書株式會社  
 東京市京橋區銀座一丁目二十二  
 番地  
 專務取締役 佐久間 貞一



發賣所

東京市京橋區銀座一丁目二十二番地  
 大日本圖書株式會社  
 大坂市東區上難波南ノ町七十二番屋敷  
 全 支 社  
 各府縣下賣捌所

